



DCS & Labelling Worldwide



SATO Label Gallery Network

クイック スタートガイド

SATO International Pte Ltd

日本語版

Version : BSI-021227-01

Copyright © 2002-2003 SATO International
All rights reserved.
www.satoworldwide.com

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Information in this document is subject to change without notice. No part of the publication may be reproduced, transmitted, transcribed, stored in a retrieval system, or translated into any language in any form or by any means without written permission of SATO International Pte Ltd

内容

1. インストール	5
1.1 パッケージ内容	5
1.2 システム動作環境	6
1.2.1 ハードウェア環境	6
1.2.2 ソフトウェア環境	6
1.3 インストール概要	7
1.4 サーバインストール	8
1.4.1 サーバインストール概要	8
1.4.2 サーバインストール手順	9
1.5 ワークステーションインストール	11
2. 登録	14
2.1 概要	14
2.2 ライセンスマネージャ	14
2.2.1 トライアルモード	15
2.2.2 ソフトウェア登録	16
2.2.3 オフラインモード	18
2.3 Windows Terminal Services と Citrix MetaFrame	20
3. その他	21
3.1 Label Gallery コンポーネントの追加・削除 (ワークステーション)	21
3.2 Borland Database Engine (BDE) についてのご注意	21
3.3 新しいバージョンへのアップグレード	22
3.4 新しいサーバコンピュータへの移動	23
4 Label Gallery クイックスタート	25
4.1 Label Gallery を起動する	25
4.2 最初のラベルのデザイン	25
4.2.1 ラベルにテキストフィールドを貼り付ける	26
4.2.2 ラベルに別のテキストフィールドを貼り付ける	26

4.2.3	ラベルにグラフィックを貼り付ける	26
4.2.4	罫線を貼り付ける.....	27
4.2.5	枠線の追加	27
4.2.6	バーコードの追加.....	27
4.2.7	ラベルの保存.....	28
4.2.8	ラベル発行.....	28
4.3	変数要素のあるラベルを設計する	29
4.3.1	変数フィールド.....	29
4.3.2	変数テキストオブジェクトを追加する	29
4.3.3	バーコードオブジェクトを追加する.....	30
4.3.4	ラベル発行	31
4.3.5	ラベルにカウンタを追加する	32
4.3.6	ラベルに日付を追加する.....	32
5	Label Gallery 機能一覧	33
6	トラブルシューティング	37
6.2	保証	37
6.3	テクニカルサポート	37

1. インストール

1.1 パッケージ内容

SATO Label Gallery をご購入いただきありがとうございます。Label Gallery はバーコードラベルデザイン設計・発行における全てのニーズにお応えするソフトウェアです。SATO は世界各国に、より高度な品質のラベルソリューションをご提供することができます。秀でたカスタマサービスをワールドワイドに、確実にを行うために、SATO は優れた販売代理店、システムインテグレータを通じて活動しております。

SATO Label Gallery のパッケージに以下のものが含まれているかご確認ください。

- Label Gallery Network CD-ROM
- SATO Label Gallery Network シリアル番号 Memo
- Label Gallery Network クイック スタートガイド(本誌)

パッケージ内容に不足しているものがあれば、ご購入いただいた販売代理店にご連絡ください。

SATO Label Gallery に関する詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.satoworldwide.com/> .

では、実際に新しいラベルソリューションソフトウェアのインストール手順をご案内いたします。

1.2 システム動作環境

プログラムをインストールし、ご使用いただくためには、以下の環境が必要です。

1.2.1 ハードウェア環境

ワークステーション

- IBM パーソナルコンピュータ(又は互換機)Pentium 又はそれ以上のスペックを推奨。
- 32-bit Windows operating system (Windows 9X, Windows Me, Windows NT, Windows 2000, Windows XP...)
- 最低 32MB 以上の RAM
- ネットワーク接続環境

サーバ

- Windows 環境からファイル共有が可能な全てのサーバ(NetWare, Windows OS, UNIX, AS/400, VMS, ...)
- 60MB 以上の共有された空き領域のあるハードディスク
- ネットワーク接続環境
- CD-ROM ドライブ

1.2.2 ソフトウェア環境

ローカルコンピュータにおける Administrator 権限(インストール時) SATO Label Gallery をインストールするクライアントコンピュータは Administrator か Administrator グループのメンバーである必要があります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE key (インストール時は読み取り・書き込み、Label Gallery 起動時は、読み取り) レジストリ情報を更新するための管理者権限を持つことは極めて重要です。Windows のレジストリには SATO Label Gallery のインストール情報、ファイルフォルダに関する情報、ソフトウェアコンポーネントとモジュールが登録されます。インストール時には読み取り・書き込みアクセス、ソフトウェア実行時には読み取りアクセスの権限が必要です。

HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE key (読み取り・書き込み) 各ユーザの Label Gallery の設定はこのレジストリキーに登録されます。コンピュータにログオンする全てのユーザはそれぞれの設定情報を更新する必要があります。

サーバのフォルダ、 SATO Label Gallery サーババージョンはファイ

GalleryNet¥Bin¥System (インストール時、読み取り・書き込み)	ルサーバの役割をします。プログラムはサーバ上では起動しません。クライアントからファイルが共有されるだけです。Bin フォルダは全てのクライアントから更新する必要があるため、読み取り・書き込みアクセスを許可した状態で共有されている必要がありますが、これ以外のフォルダは読み取り専用を設定できます。
プリンタドライバのアクセス	ユーザはラベル発行を行うプリンタドライバにアクセス権を持つ必要があります。ご使用の Windows に依存しますが、『印刷』と『読み取り』許可が必要です。
BDE (Borland Database Engine)LOCAL SHARE パラメータの設定	LOCAL SHARE のパラメータでネットワーク環境のデータベースファイルの適切なロックを行います。コントロールパネルから BDE Administrator を起動し、Configuration タブの System、INIT の LOCAL SHARE のパラメータが <i>True</i> になっていることをご確認ください。
BDE (Borland Database Engine) for NET DIR parameter.	Paradox テーブルは内部システムデータの登録に使用されます。全てのクライアントは同じネットワーク制御ファイル(PDOXUSRS.NET)を参照する必要があります。通常、NET DIR の設定はインストールされた状態で、変更を行う必要はありません。コントロールパネルから BDE Administrator を起動し、Configuration タブの Drivers、Native、Paradox の NET DIR をご確認ください。

1.3 インストール概要

SATO Label Gallery Network のインストーラは3つのステップで構成されます。詳細は次の章をご参照ください。

インストールを始める前に、コンピュータの管理者権限があることをご確認ください。通常、Administrator でインストール、アンインストールを行います。インストール時、インストール先ディレクトリの読み取り・書き込み許可が必要です。

最初のステップは SATO Label Gallery Network server バージョンのインストールです。サーバに Windows OS がインストールされている場合はサーバからインストールすることが可能です。又、サーバの読み取り・書き込みを許可し、共有されたディスクにワークステーションから遠隔操作にてインストールすることも可能です。

サーバのインストールが完了後、サーバからワークステーションにプログラムをインストールすることが出来ます。

サーバにインストールされた後、プログラムを起動する必要があります。SATO Label Gallery Network を評価版される場合は、トライアルモードでご使用いただけます。但し、同時接続ユーザは3人まで、期間は1ヶ月となります。31日間はソフトウェアの全ての機能をお試しいただけます。試用期間を過ぎますと、ご使用いただけません。

SATO Label Gallery Network に、ソフトウェア登録情報が同梱されていますので、登録を行ってください。登録することにより、製品版としてご使用いただけます。

登録は以下の3ステップから成ります。

1. まず、ライセンスマネージャで登録番号(Registration Number)を入力し、トライアルモードでの使用を可能にしてください。
2. 登録コード(Registration Code) をインターネット、あるいはソフトウェアベンダより取得してください。
3. ライセンスマネージャで登録コード(Registration Code) を入力し、ソフトウェア登録を行ってください。トライアルモードは解除され、製品版としてご使用いただけます。

インストールと登録の詳細は以下をご参照ください。

1.4 サーバインストール

1.4.1 サーバインストール概要

最初にサーバインストールを行ってください。サーバインストールはワークステーションを使用可能にするためにも必須です。ネットワークバージョンに必要な全てのファイルはサーバにインストールされます。ワークステーションインストールには Label Gallery CD-ROM を必要としません。サーバは Micro Soft Network 環境にローカル接続されていれば、Windows OS に限らず、NetWare、UNIX、AS/400、VMS など動作します。

サーバインストールは直接、サーバにて行うことをお勧めします。サーバが 32-bit Windows ではない、物理的に操作不可能である、などで直接インストールすることが不可能な場合、別のコンピュータからインストールすることも出来ます。その場合は、32-bit Windows の動作しているワークステーションをご使用ください。特に、インストールパスにはご注意ください。インストール時、サーバにワークステーションからアクセスを許可された、共有ディスクがあること、そのディスクが読み取り、及び書き込み許可されていることをご確認ください。

OS が識別され、インストールメソッドが確定すると、実際のインストール作業に移ります。

1.4.2 サーバインストール手順

Label Gallery CD-ROM を挿入するとセットアッププログラムが自動的に起動します。(起動しない場合は START.EXE をダブルクリックするか、ドライブの自動通知設定を有効にし、再度 CD-ROM を挿入してください。)一番上の **Install** をクリックし、**SATO Label Gallery True Pro** をクリックしてください。**SATO Label Gallery Network** インストーラが起動します。

最初にインストールに使用する言語を選択してください。*Welcome* メッセージが表示されます。次へボタンを押してください。最新情報を含んだ **README.TXT** が表示されます。更にユーザ名、会社名を入力する画面が表示されます。

セットアップオプション画面でインストール先のフォルダを選択することが出来ます。(¥SERVER¥DISK¥PATHが表示されています。)ワークステーションインストールの際はインストールするコンポーネントを選択することができますが、サーバのインストールオプションは常に**フルインストール**になります。全てのアプリケーションとコンポーネントがサーバにインストールされます。

Label Gallery を使用するドメインのワークステーションで共有されたディレクトリを選択してください。サーバインストール時は、必ずこのディレクトリが書き込み許可に設定されていることをご確認ください。ご使用時は読み取り権限があれば動作しますが、Bin¥System フォルダは読み取り・書き込み許可に設定する必要があります。インストール先を設定し、次へボタンを押してください。



Setup options

現在のインストールオプション設定と必要なドライブの空き領域など、インストールオプションの概要が表示されます。次へをクリックすると、ファイルのコピーが始まります。

インストール中に終了ボタンをクリックすると、インストールを中断し、前へボタンをクリックすると前の画面に戻り、(前のステップで間違った場合、修正することができます。)ヘルプボタンをクリックするとインストールに関する操作説明が表示されます。

ファイルのコピーが終了すると、終了ボタンを押し、インストールを終了してください。サーバインストール終了後、Label Gallery CD-ROM をドライブから取り出すことができます。

プリンタドライバが必要な場合は、ハードディスクに Drivers フォルダコピーしておくことをお勧めします。

これらの作業が終了すると、ワークステーションのインストールに移ることができます。

1.5 ワークステーションインストール

ワークステーションは、それぞれのパソコンから WORKSTAT.EXE を実行し、インストールしてください。このファイルはサーバの NETSETUP フォルダに在ります。(初期設定では

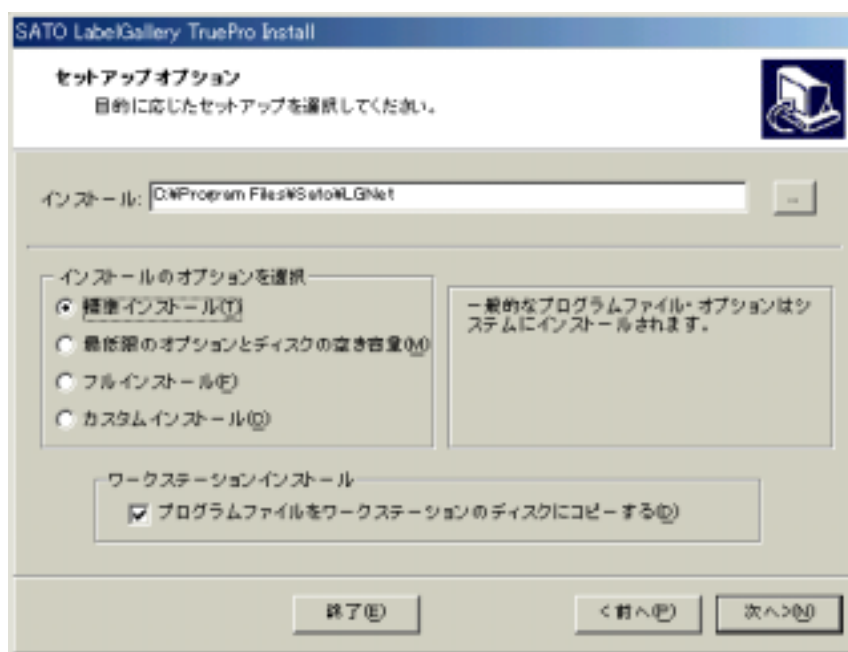
¥¥SERVER¥DISK¥SATO¥GalleryNet¥NetSetup に在ります。)ワークステーションインストールには CD-ROM は必要ありません。

まず、インストールに使用する言語を選択してください。選択した言語は、Label Gallery の初期設定になります。*Welcome* メッセージが表示されます。次へボタンを押すと最新情報が書かれた README.TXT が表示されます。さらに、ユーザ名を入力する画面が表示されます。会社名は、サーバのインストール時に定義されたものが表示されます。

セットアップオプション画面でインストールするフォルダを選択してください。C:¥Program Files¥SATO¥Label Gallery が初期値として表示されますが、変更していただくことも可能です。...ボタンをクリックすると、フォルダを選択できます。次にインストールオプションを選択してください。

インストールオプションには以下の種類があります。

- | | |
|----------------------------|---|
| 標準インストール | 一般的なコンポーネントがインストールされます。サポートする言語を選択することができます。(複数選択可) |
| 最小限のオプションとディスクの空き容量 | 最小限のコンポーネントがインストールされます。ヘルプとサンプルはインストールされません。インストールで使用されている言語のみインストールされます。 |
| フルインストール | 全てのコンポーネントと利用可能な全ての言語がインストールされます。 |
| カスタムインストール | 次へボタンをクリックした後、インストールするコンポーネントを選択することが出来ます。サポートする言語も選択することができます。(複数選択可) |



インストールオプション画面

プログラムファイルをワークステーションにコピーする、を選択するとプログラムを起動するために必要なファイルは全てワークステーションのコンピュータにインストールされます。ネットワーク接続の通信速度が遅く、プログラムの実行に時間がかかる場合はこのオプションを使用してください。Label Gallery はローカルコンピュータにインストールされ、レスポンスタイムを短縮することができます。しかし、アプリケーションを最新バージョンにアップグレードされる場合は、都度、ローカルコンピュータもアップグレードする必要があります。全てのファイルがサーバにあれば、サーバのアップグレードだけでご利用いただけます。

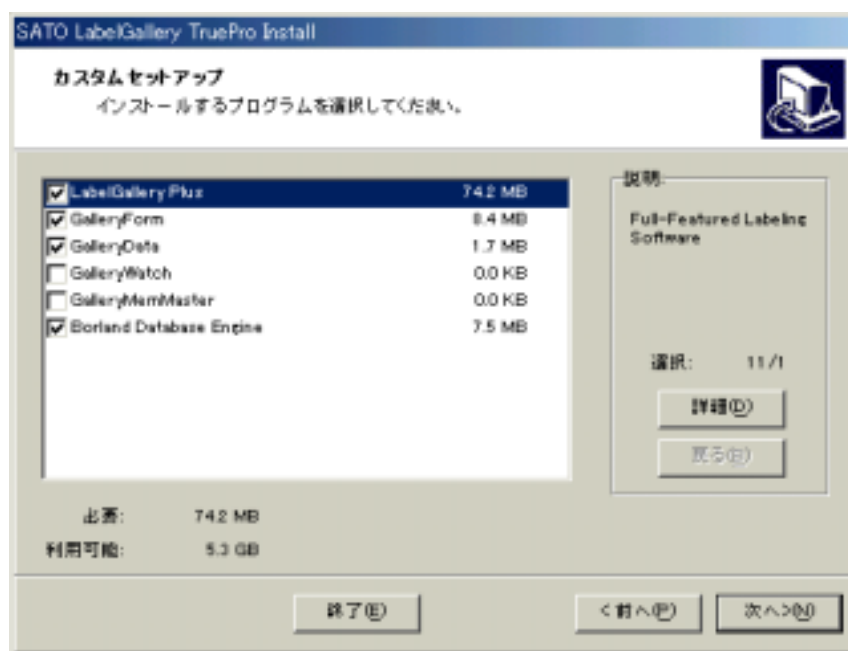
このオプションを選択しされない場合は、BDE (Borland Database Engine)、レジストリ登録、EuroPlus Common Files だけが、ワークステーションにインストールされます。その他のファイルは全てサーバに置かれます。

カスタムインストールを選択した場合は、ダイアログボックスが表示されます。そこでインストール設定を行ってください。

アプリケーション名を選択し、**詳細**ボタンをクリックすると、更にインストールするコンポーネントの更に細かい選択が可能です。**戻る**ボタンで詳細設定の前の画面に戻ることができます。選択されたオプションに基づく、必要なディスク容量がダイアログボックスの下部に表示されます。

このインストールは、ワークステーションによって使用可能はプログラムの制限をする際に有効です。例えば、データベースの更新をする必要のあるワークステーションにのみ GalleryData をインストールし、その他のワークステーションにはインストールしない、という様なことが可能です。

次へボタンをクリックし、次の手順に移ります。



カスタムセットアップ

インストールオプションでは現在のインストール設定と、インストールに必要なディスクの空き領域、ファイルのコピー先が表示されます。**次へ**ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが始まります。

Label Gallery CD-ROM から、サーバに Driver フォルダをコピーされている場合は、ここからプリンタドライバのインストールを実行していただけます。

インストールを終了するには**終了**ボタンを押してください。

注意!ワークステーションはサーバの¥Bin¥System に対する、書き込み許可が必要です。このフォルダ以外はディスクの読み取り許可が必要です。(例:¥¥SERVER¥DISK とサブフォルダ)

2. 登録

2.1 概要

Label Gallery をワークステーションでご使用になる前に、登録を行う必要があります。Label Gallery Plus 起動時、下のメッセージが表示されることがあります。



初めて Gallery Plus Network を起動された場合は、はいをクリックし、ライセンスマネージャを実行し、登録を行ってください。

2.2 ライセンスマネージャ

Label Gallery Network の登録はライセンスマネージャで行います。スタートメニューの SATO Label Gallery Network からライセンスマネージャを起動してください。あるいは、サーバの **GalleryNet¥Bin** から LMANAGER.EXE を起動することも可能です。ライセンスマネージャをワークステーションから実行するには BDE (Borland Database Engine) がインストールされている必要があります。サーバから行う場合にも同様に、BDE がインストールされていない場合は、登録を行うことはできません。通常、Label Gallery がインストールされたワークステーションから登録を行ってください。ワークステーションのインストールは 1 - 7 のワークステーションインストールをご参照ください。

ライセンスマネージャは登録のためだけでなく、現在のライセンス状況を確認し、オフラインモードに切り替える機能があります。オフラインモードはサーバが使用できない場合やサーバにアクセスできない場合でもワークステーションを使用可能にする機能です。この機能はモバイル環境でのラベル発行や、サーバシステムがダウンした場合でもラベル発行を中断しない為に、使用されます。

ライセンスマネージャで以下の項目が表示されます。

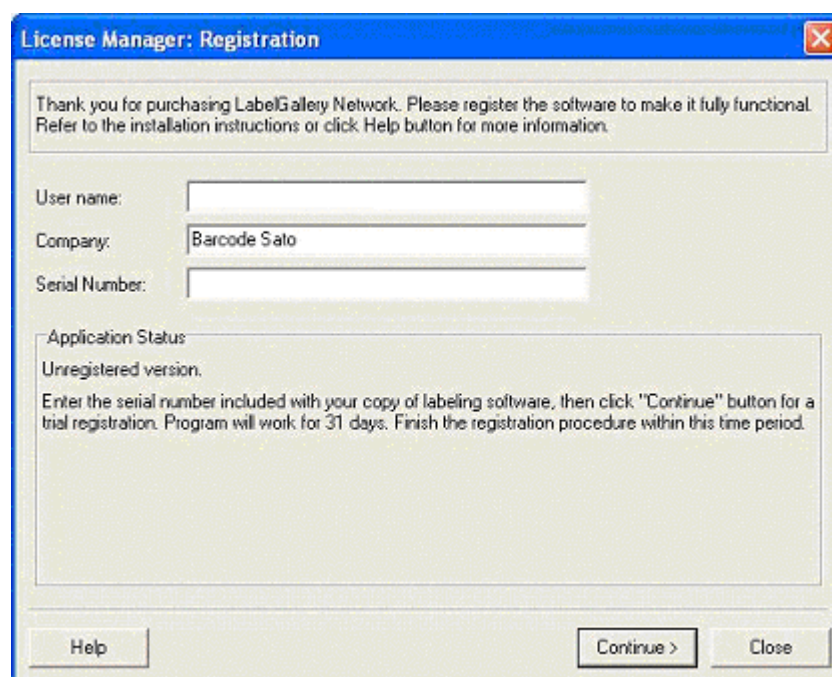
- コンピュータ名
- Windows ユーザ名
- Label Gallery ユーザ名
- ログイン時間
- スタータス(オフライン)
- 接続 (True, False)

2.2.1 トライアルモード

トライアルモードは一時的にソフトウェアを使用するモードです。全ての機能が使用可能ですが、登録されていないと制限があります。ソフトウェアは31日間、このモードでご使用いただけますが、それ以降はご使用いただけません。更に、3ユーザのみ接続可能です。その他の全ての機能は通常モードと同様です。31日以内に登録を完了してください。

ご注意! 31日後、登録されない限り、Label Gallery Network は操作できなくなります。

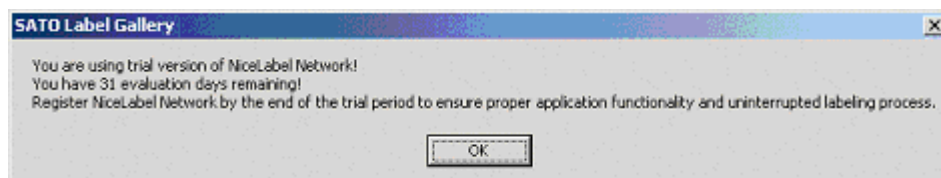
トライアルモードを利用可能にするには、全てのフィールドに入力する必要があります。会社名とユーザ名は後の手順で使用されます。シリアル番号はソフトウェアのパッケージに同梱されています。



ライセンスマネージャトライアル登録画面

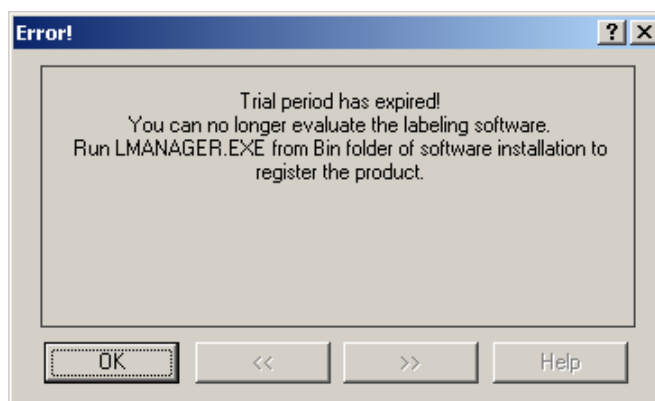
有効なデータを入力後、**Continue** ボタンをクリックしてください。適切なシリアル番号が入力されると、トライアルモードが有効になります。

登録を完了されるまでは、Label Gallery Network を起動する度に毎回トライアルモードであることが通知され、残りの日数が自動的に更新されます。

*Label Gallery Network トライアルモード*

有効なデータを入力後、**Continue** ボタンをクリックしてください。適切なシリアル番号が入力されると、トライアルモードが有効になります。

登録を完了されるまでは、Label Gallery Network を起動する度に毎回トライアルモードであることが通知され、残りの日数が自動的に更新されます。

*試用期間が過ぎますと Label Gallery Network は使用できなくなります*

スタートメニューか、サーバの Bin フォルダの LMANAGER.EXE からライセンスマネージャを起動し、ソフトウェアを登録してください。

2.2.2 ソフトウェア登録

トライアルモードでは31日間ソフトウェアをお使いいただけます。必ず31日以内に登録を行ってください。

アプリケーションの状態はダイアログボックスの下部に表示されます。(Application status) インストールに続き、登録も行ってください。

ライセンスマネージャ登録画面

シリアル番号が入力されると、License Manager が登録番号を発行します。登録コードの欄が空欄になっていますので、下記の2通りの方法のどちらで取得してください。

Internet registration:登録コードの取得には、通常、このインターネット登録をご利用いただいております。表示されているサイトでメールアドレスを入力していただくだけで、必要な全ての情報を取得していただけます。メールアドレス以外の項目は全て画面に表示されていますので入力する必要はありません。一度、登録コードを取得すると、その際にご利用になったシリアル番号は、無効になります。

Manual registration:インターネットに接続できない等の理由で、インターネット登録が不可能な場合は、こちらを選択してください。マニュアル登録が可能です。ソフトウェアベンダ名を、**Software vendor** 欄に入力し、**Save the registration** ボタンをクリックしてください。サーバの **Bin\System** フォルダに REGISTER.TXT ファイルが作成されますので、このファイルをソフトウェアベンダにお送りください。登録をお急ぎの場合は、インターネット登録をお勧めします。

登録コードをソフトウェアベンダ、又はインターネットから取得されたら、再度ライセンスマネージャを起動し、登録作業を完了させてください。前回入力されたシリアル番号と登録番号、その他の情報が表示されますので、登録コードを入力し、**Register** ボタンをクリックしてください。これにより、トライアルモードから登録済みバージョンに変わります。Label Gallery Network は31日間の制限が解除され、3ユーザ以上の接続が可能になります。(ご購入ライセンス数接続可能です。)

New registration ボタンはライセンスの追加に使用します。このボタンを使用すると、既存の登録情報は削除されますので、ご注意ください。

新規ライセンス登録のためにお手元にシリアル番号は大切に保管しておいてください。

登録画面を閉じるには **Close** ボタンをクリックしてください。

注意! ライセンスマネージャでの登録は、一度で完了します。それぞれのワークステーションで行う必要はありません。

2.2.3 オフラインモード

SATO Label Gallery Network はサーバにプログラム、データを持ち、全てのワークステーションがそれを利用します。もし、サーバやネットワークがダウンした際は、使用することができなくなります。オフラインモードはこういった場合でもワークステーションでの操作を可能にするモードです。オフラインモードには以下に記述するいくつかの制限事項があります。

又、オフラインモードはモバイルユーザのラベル発行を実現します Label Gallery Network version をインストールし、ワークステーションバージョンで操作されていたコンピュータが、ネットワークから切断された場合、Label Gallery を使用できなくなります。このような場合、オフラインモードを使用し、回避することができます。

ライセンスマネージャで Label Gallery をオフラインモードに切り替えることができます。ライセンスマネージャの起動にはライセンスが1つ使用されます。(登録が完了していない場合はご利用いただけません。)この、起動に使用されたライセンスをオフラインモードに切り替えることができます。オフラインモードに切り替えることにより、このライセンスを保持したまま、ワークステーションをサーバなしで使用することができます。

オフラインモードでは常にこのライセンスを使用します。SATO Label Gallery Network を起動すると、このライセンス以外は使用しません。プログラムを終了しても、このライセンスを保持します。オフラインモードで使用されている間も、このようにライセンスを保持するため、オフラインモードであっても、ご購入いただいたライセンス数以上のコンピュータで Label Gallery をご利用いただくことはできません。オフラインモードを解除するには、ライセンスマネージャで **Disable Off-line** ボタンをクリックしてください。

オフラインモードで使用するためには、Label Gallery をローカルコンピュータにインストールする必要があります。インストール時、**プログラムファイルをワークステーションにコピーする**、オプションを必ず選択してください。Label Gallery の起動に必要な全てのファイルはローカルコンピュータにインストールされます。System フォルダが生成され、その中にコピーされます。オフラインモードで使用される場合は、このローカルコンピュータにインストールされたプログラムファイルが使用されます。

プログラム起動時、サーバにアクセス可能であれば、サーバのファイルが使用され、アクセスできなければ、ローカルコンピュータのファイルを使用します。

オフラインモードで使用される場合は、いくつかの重要な注意点があります。全ての機能をご使用いただける訳ではありません。

オフラインモードでの制限事項:

- | | |
|--------------------------------|--|
| グローバル変数 | グローバル変数はオフラインモードでは使用できません。グローバル変数をワークステーションにコピーし、他のワークステーションにもコピーした場合や、他のワークステーションがサーバのグローバル変数を同時に使用した場合等は、その値が重複します。 |
| ログファイル | 標準(データベース)を使用する場合は、ログファイルは作成されますが、オンラインモードに戻った際、メインシステムのログファイルとの整合性はとれなくなります。

テキストファイルを使用する場合、ファイルの保存場所にアクセスできないパスが指定されていると、ログは保存できません。 |
| ラベル・データベース、グラフィック等の保存場所 | 必要なラベルファイルはユーザにより管理されます。(Label Gallery が自動的にコピーすることはありません。)

Windows 2000 以上をご使用の場合は、フォルダオプションの“オフラインファイルを使えるようにする”を設定することにより、オフラインモードでもラベルファイルを同期させることができます。 |
| オフラインクライアント数 | オフラインモードでの最大ワークステーション数は、ご購入いただいたライセンス数の半分までとなります。 |
| ログイン制限 | オフラインモードではログイン制限と Label Gallery カスタムユーザ名は、ご使用になれません。 |
| 期間制限 | オフラインモードでは、それぞれのライセンスにつき15日間という使用期間制限があります。クライアントがこの期間内にオンラインモードでサーバに再接続しない場合、そのライセンスは無効となり、別のクライアントに再配布されます。

この期間制限は、通常のオンラインモードで使用するワークステーションがログインできなくなった場合を考慮しております。(修理不可能なコンピュータのクラッシュ、コンピュータの紛失など)使用期間制限終了後、そのライセンスは使用可能なライセンスとして、サーバに戻されます。 |

2.3 Windows Terminal Services と Citrix MetaFrame

SATO Label Gallery Network は terminal service 環境にて制限なく、ご使用いただけます。

詳細は *White Paper: Label Gallery software used from Microsoft Terminal Services and Citrix Metaframe*、又は、下記ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.satoworldwide.com/>

3. その他

3.1 Label Gallery コンポーネントの追加・削除 (ワークステーション)

SATO Label Gallery Network のコンポーネントの追加・削除を行う場合は、ワークステーションの**コントロールパネル**、プログラムの追加と削除で、SATO Label Gallery Network (Workstation) を選択してください。又は、スタートメニューの'SATO Label Gallery Network'からセットアップを再実行してください。

インストーラの**追加 / 削除**ボタンをクリックし、コンポーネントの追加・削除を行ってください。

アプリケーションを再インストールする、をクリックすると、最後にインストールされたコンポーネントを再度インストールします。これによって、全てのプログラムファイルは再度コピーされ、紛失・破損されたファイルを修復することができます。

全て削除する、を選択すると、全ての Label Gallery のプログラムとコンポーネントはコンピュータから削除されます。しかし SATO Label Gallery Network インストール後に追加・変更されたファイルは、ハードディスクにそのまま残ります。

3.2 Borland Database Engine (BDE)についてのご注意

BDE ライブラリはプログラム上のデータベース接続に必要です。Label Gallery はこのライブラリを使用し、コンピュータの様々なデータベースに接続します。SATO Label Gallery Network はインストールによって作成された BDE の特殊な設定を要します。これらの変更により、他の BDE を使用したアプリケーションに影響を与える恐れがあります。

全てのワークステーションはネットワーク環境の、Paradox データベースにより、ネットワーク管理ファイルの同一のディレクトを使用します。インストール時、サーバのディレクトリの Bin\System が設定されています。設定の変更が必要な場合は、コントロールパネルから **BDE Administrator** を起動し、Configuration タブの「Drivers」 - 「Native」

- 「PARADOX」 - 「NET DIR」で設定してください。これはアドバンス設定であり、通常は変更する必要はありませんので、ご注意ください。もし変更される場合は、必ず、全てのワークステーションを同一の設定にしてください。

BDE を使用した、他のアプリケーションをご使用の場合は、Label Gallery インストール後、この BDE の設定を確認し、必要であれば、BDE Administrator から通常のパラメータ値に設定を変更してください。

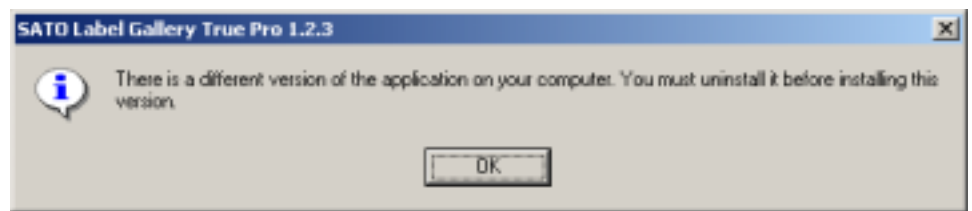
3.3 新しいバージョンへのアップグレード

Label Gallery は定期的にバージョンアップされます。新しいバージョンがリリースされた際は、バージョンアップされることお勧めします。新しいバージョンは、拡張・改良され、その機能は、より信頼性の高いものとなっており、ご満足いただけるラベル発行機能をご提供できます。

バージョンアップの方法は、通常のインストールと同様に行ってください。最初にサーバにインストールする必要があります。サーバインストールの章(1.4)をご覧ください。現在バージョンをインストールされた際、ご使用になったコンピュータからインストールしてください。

インストーラは自動的に現在のバージョンを確定し、現在インストールされているフォルダにプログラムファイルをコピーします。全ての既存の設定(プログラム登録情報、ラベル、フォーム、プログラム設定を含む)、データは残ります。

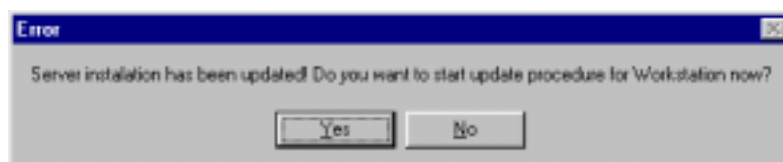
ご注意! インストール先のフォルダが読み取り・書き込み許可されている必要があります。フォルダのプロパティをご確認ください。必要であれば、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



以前のバージョンの SATO Label Gallery Network がインストールされている場合

サーバのインストールが完了すると、ワークステーションの再インストールが必要です。それぞれのワークステーションからサーバの WORKSTAT.EXE を起動し、ワークステーションインストールの章(1.5)を参照し、インストールを行ってください。インストーラが既にインストールされたバージョンを検出し、新しいバージョンをインストールします。既存の設定、データは、そのまま残ります。

サーバとワークステーションのバージョンが異なる場合、ワークステーションで下図のメッセージが表示され、アップグレードを行うことができます。



システム情報が現在のバージョンより新しい場合

同一メジャーバージョン内のアップグレード(例:2.0 から 2.1、2.5 から 2.6 など)は無償で行っていただけます。現在お使いのバージョンをユーザ登録されている場合は、無償アップグレードの権限があります。CD-ROM 輸送料・手数料のみ発生します。

メジャーアップグレード(例 2.6 から 3.0 など)は有償となります。但し、現在お使いのバージョンをユーザ登録されている場合は、特別な価格にてご提供させていただきます。

アップグレードライセンスと価格については、ソフトウェアベンダにお問い合わせください。

3.4 新しいサーバコンピュータへの移動

この章では、SATO Label Gallery Network を別のサーバコンピュータに移す場合の注意点について記述します。

まず、新しいサーバをご用意ください。サーバインストールの章(1.4)をご参照いただき、現在お使いのサーバと同じバージョンの SATO Label Gallery Network をインストールしてください。この手順には既存のシリアル番号、登録番号、登録コードは使用できません。ご購入いただいたソフトウェアベンダから新しいシリアル番号を取得してください。

新しいサーバに SATO Label Gallery Network が正常にインストールされ、登録完了後、以前のサーバのプログラム設定、データファイルの移動が可能となります。

以前のサーバの設定を継続してご使用になる場合は、以下のファイルを新しいサーバにコピーする必要があります。

- グローバル変数 (GLOBALS.TDB)
- 変数ファイル (*.NVR files)
- Label Gallery 設定ファイル (SETTINGS.TDB)
- Label Gallery ユーザ (USERLIST.TDB)
- ログファイル (NLOG.* files)
- 変数ログファイル (NVARLOG.* files)
- カスタムアルゴリズム定義ファイル (ALGO.DEF)

これらのファイルはサーバの¥Bin¥System フォルダに在ります。コピー作業が完了すると、新しいサーバでこれまでの設定がご利用いただけます。コピー作業中、Label Gallery が起動していないことをご確認ください。新しいサーバで、これまでのラベルファイル、フォームファイル、データベースをご使用になる場合、以下のファイルのコピーも行ってください。

- ラベルファイル (.LBL)
- フォームファイル (.OFF)
- データベース

これらのファイルを新しいサーバにコピーしていただくことで、これまでと同一の環境をお作りいただけます。

4 Label Gallery クイックスタート

4.1 Label Gallery を起動する

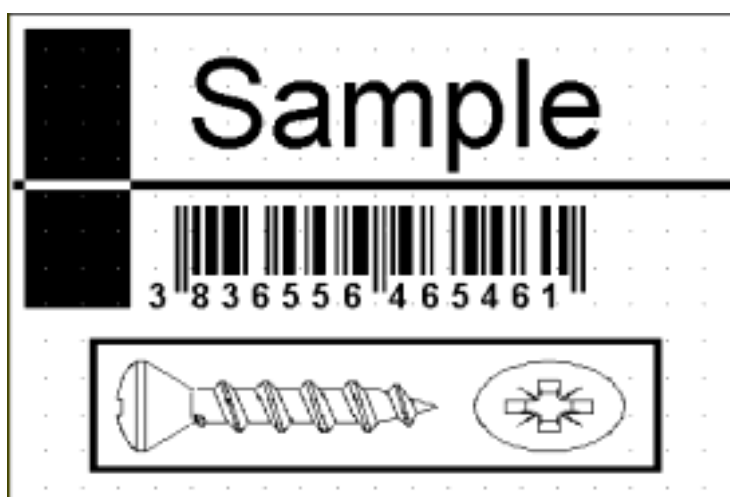
Label Gallery を起動すると、ウィザード画面が表示されます。ラベルを開くには、以下の3つの方法があります。

- **ラベル新規作成**: 新たにラベルのフォームを作成します。
- **最近使用したラベルを開く**: 最近使用したラベルが一覧表示されます。その中から開くラベルを1つ選択できます。
- **既存ラベルを開く**: ラベルファイルを参照するため、**ファイルを開く**ダイアログボックスが表示されます。

該当のオプションを選択後、**終了**ボタンをクリックしてください。Label Gallery のメイン画面が開きます。

4.2 最初のラベルのデザイン


では、テキストオブジェクト、グラフィック、線、バーコードを使用した、最初のラベルを作成してみましょう。



コンピュータにコピーされた、SAMPLE.LBL とグラフィック SAMPLE.PCX をご参考にしてください。

1. Label Gallery を起動し、ウィザード画面で**ラベル新規作成**を選択します。確定するには**終了**ボタンをクリックしてください。
2. **ラベル設定ウィザード**が表示されます。ドロップダウンリストからプリンタを選択し、**次へ**ボタンをクリックします。
3. 用紙サイズ登録選択画面をスキップするため再度**次へ**ボタンをクリックしてください。これはこの練習マニュアルではスキップしていただけますが、“用紙サイズ登録”についても後でご確認ください。
4. ラベルサイズを入力してください。(例:縦 10 cm、横 7 cm for) **終了**ボタンをし、Label Gallery のメイン画面に戻ってください。1.

4.2.1 ラベルにテキストフィールドを貼り付ける


1. テキストツールでデフォルトフォント名、スタイル、サイズを選択してください。このサンプルでは Arial、太字、20 ポイントを使用します。
2. ツールボックスのテキストアイコン  をクリックしてください。文字を貼り付けたい場所にマウスを移動し、クリックしてください。
3. 印字したい文字を入力してください。このサンプルでは、SAMPLE と入力します。
4. テキストオブジェクトの位置を移動するときは、そのオブジェクトをドラッグしてください。全てのオブジェクトのプロパティ画面は、そのオブジェクトをダブルクリックすることで表示されます。

4.2.2 ラベルに別のテキストフィールドを貼り付ける


3.2.1 のステップを繰り返すことで別のテキストオブジェクトを追加することができます。複数行のテキストエレメントを貼り付けるには、行の最後で<Enter> キーを押してください。カーソルが新しい行に移ります。

4.2.3 ラベルにグラフィックを貼り付ける


標準インストールでインストールすると、SAMPLE.PCX がコピーされています。

1. ツールボックスのグラフィックアイコン  をクリックし、グラフィックを貼り付けたい場所にマウスを移動してください。左クリックするとファイルを開く画面が表示されます。Sample Graphics フォルダの SAMPLE.PCX のファイル名をダブルクリックしてください。グラフィックがラベルに貼り付けられます。
2. 次に、グラフィックのサイズを小さく変更します。まず、クリックしてグラフィックを選択します。そしてカーソルをグラフィックの端に移動します。マウスの形状が斜め矢印になったところでクリックし、そのままグラフィックの中央に向かってマウスを移動します。適当なサイズになったところでマウスを離してください。


4.2.4 罫線を貼り付ける

1. ツールボックスの中から罫線アイコン  をクリックし、テキストオブジェクト "SAMPLE"の下にマウスを移動してください。
2. マウスをクリックしたまま、適当な長さまで右に動かしてください。マウスを離すと罫線が貼り付けられています。
3. 位置や線の太さを変更するには罫線を選択し、(選択すると黒い点で囲まれます。)マウスを操作してください。

4.2.5 枠線の追加

1. 枠アイコンを選択し  マウスをクリックしてください。クリックした場所が、枠線の左上の(始点)となります。そのまま、枠線の右下(終点)までマウスを動かし、離してください。
2. 枠線を選択し、マウスを移動することで、自由に位置を変更することができます。大きさを変えるには、選択後、枠線の端をクリックしたまま、マウスを移動してください。

4.2.6 バーコードの追加


1. ツールボックスからバーコードアイコン  をクリックし、バーコードを挿入する場所で再度クリックしてください。
2. テキストボックス内で一度クリックし、印字したい値を入力してください。(例: 3836556465461)

“定義”ボタンをクリックし“EAN・UCC”の下にある“EAN-13”を選択してください。OKボタンで前の画面に戻り、終了ボタンをクリックしてください。




3. バーコードオブジェクトの位置を移動するときは、そのオブジェクトをドラッグしてください。

4.2.7 ラベルの保存

デザインしたラベルを保存するには、ツールバーの保存アイコン  をクリックしてください。ファイル名に、ラベルにつける名前を入力し、保存ボタンをクリックしてください。ファイルの拡張子は".LBL"となります。

4.2.8 ラベル発行

ツールバーの発行アイコン  をクリックするか、メニューのファイル、発行を選択してください。発行枚数を入力し、発行ボタンを押してください。

4.3 変数エレメントのあるラベルを設計する

4.3.1 変数フィールド

連番、シリアル番号、日付、時間、入力フィールドなどの、それぞれのラベルで値が変わるラベルを発行する場合、変数フィールドを用います。変数フィールドはテキストオブジェクトやグラフィックオブジェクトなどに使用できます。

変数には多くの種類があります。用途に応じ、ご使用ください。ラベル発行時、変数にセットされる値により、手順が異なります。

- オペレータがキーボードでデータを入力する
- コンピュータのシステム日付・時間を使用する。
- 自動設定(既に初期値がセットされているカウンタ)
- データベースのフィールドの値を使用する。

変数フィールドを使用したラベルをデザインしてみましょう。それぞれのラベルで Article number とバーコードの値を変更します。発行する前にそれらの値を入力します。



コンピュータにコピーされた SAMPLE2.LBL を参考にしてください。

4.3.2 変数テキストオブジェクトを追加する

3.2 でテキストオブジェクトの作成方法が記述されています。ここでは可変フィールド(変数) **Article number** を作成します。値は、発行する前にキーボードから入力します。



1. ツールボックスのテキストアイコン  の右側に小さな矢印があるのをご確認ください。これをクリックすると Label Gallery で使用可能な全ての変数種類が

一覧表示されます。**キーボード入力新規作成**を選択し、テキストオブジェクトを挿入する場所でクリックしてください。**テキストウィザード**が始まります。

2. 発行前に値の入力を促す変数フィールドのプロンプトを入力してください。ここでは"PLEASE ENTER ARTICLE NO!"とします。フォーマットには数字を選択し、最大桁数は10桁とします。この設定は入力可能な最大桁数(半角)となります。**終了**ボタンをクリックし、ウィザードを閉じてください。テキストエレメントがラベルに現れます。
3. ラベル上の全ての変数フィールドは?マークで表示されます。(設定された最大桁数)発行する際は、入力された値がセットされます。
4. 同様に、current date 変数のテキストオブジェクトも追加してください。


4.3.3 バーコードオブジェクトを追加する

ここでは、Interleaved 2 of 5 の変数バーコードをラベルに追加します。バーコードの下には解説文字を印字します。

1. ツールバーのバーコードアイコン  をクリックし、バーコードエレメントを印字する場所でクリックします。バーコードパラメータを定義するための**バーコードウィザード**が始まります。
2. **変数バーコードデータ**オプションを選択し、このバーコードエレメントを可変フィールドに設定してください。
3. 定義ボタンをクリックし、一般タブの利用可能なバーコード一覧から Interleaved 2 of 5 を選択します。
4. **解説文字**タブで**バーコードの下**オプションが選択されていることをご確認ください。
5. **OK**ボタンをクリックし、バーコードウィザードに戻り、**次へ**ボタンをクリックします。
6. **キーボード入力**を選択し、**次へ**ボタンをクリックしてください。
7. プロンプトを入力し、最大桁数を設定してください。最大桁数は選択されたバーコード種類が可変長の場合のみ設定できます。いくつかのバーコード種はデータの長さが固定となります。(EAN-13, UPC codes など)。フォーマットについてはほとんどのバーコードは数字が選択されています。
8. **終了**ボタンをクリックし、バーコードを挿入してください。
9. バーコードを回転します。バーコードが選択されているのを確認し、90度(左回り)回転させるため、回転アイコン  をクリックしてください。
10. 位置を変更する場合は、バーコードエレメントを選択し、ドラッグしてください。
バーコードオブジェクトのプロパティを変更する場合は、ダブルクリックし、**バーコードウィザード**画面で行ってください。または、バーコードエレメントを右クリックし、**バーコードプロパティ**を選択して、**バーコード編集**画面で変更することもできます。


4.3.4 ラベル発行

ラベルのデザインは完了しました。発行の手順に移ります。


ツールバーの発行アイコン  をクリックするか、メニューの **ファイル**、**発行** を選択してください。変数フィールド (article number、barcode) の値と発行枚数を入力し、**発行** ボタンをクリックしてください。

さらに、カウンタと日付を下の手順で追加してください。

4.3.5 ラベルにカウンタを追加する

1. テキストアイコン  の右の矢印をクリックし、*カウンタ新規作成*をクリックします。
2. ラベル上のカウンタを挿入する場所でクリックすると、*テキストウィザード*画面が表示されます。
3. *スタート値*に 100 を設定してください。他の設定は、通常使用される値が設定されています(ラベル1枚毎にカウンタ値が1ずつ増える)ので*終了*ボタンをクリックしてください。

4.3.6 ラベルに日付を追加する

1. テキストアイコン  の右の矢印をクリックし、*日付フィールド新規作成*を選択します。
2. ラベル上の日付を挿入する場所でクリックすると*テキストウィザード*画面が表示されます
3. フォーマットを設定し、*終了*ボタンをクリックしてください。

5 Label Gallery 機能一覧

デザイン	
Windows 環境に適合	マウス操作でのオブジェクトの移動・大きさの変更、クリップボード、元に戻す、繰り返す、拡大、右クリックメニュー、MDI (Multiple Document Interface)、ドラッグ&ドロップ....
最新ユーザインタフェース	Windows 2000 “Look and Feel” ユーザインタフェース
ウィザード	WYSIWYG (画面で見たままの印字)対応
便利なデザインツール	ツール・ファンクションを使用し簡単にデザイン可能(ラベルインスペクタ、揃え機能、グリッド、カラー、Label Inspector, Align (to label), Grid, Colors、桁寄せ、切り取り、コピー & 貼り付け)
罫線・枠	長さ、線の太さ指定可能
用紙サイズ登録	標準サイズ(SATO プリンタ)、カスタムサイズ(登録可)
オンラインヘルプ	HTML オンラインヘルプ
テキスト	
Windows フォント	PC にある全ての Windows フォント(TrueType フォントなど)
プリンタフォント	プリンタ内部フォント(Matrix, Vector など).
パラグラフテキスト	マルチラインテキスト、指定範囲フォントサイズ最適化、フォント制御
リッチテキストフォーマット	リッチテキストフォーマット(RTF)対応(テキストやパラグラフとは異なり、同一エレメント内で複数のフォント種・サイズを使用可能)
テキスト桁寄せ	固定テキスト・変数テキストの右寄せ・左寄せ・センタリング
グラフィック	
グラフィックフォーマット	Windows (BMP,DIB, RLE)、CompuServe (GIF)、JPEG、(JPG, JPEG, JPE)、TIFF(TIFF, TIF, FAX, G3N, G3F)、Portable Network Graphics (PNG)、MetaFile (WMF)、Window アイコン (ICO)、Window カーソル (CUR)、Targa(TGA, TARGA, VDA, ICB, VST, PIX)、Portable Pixmap、GreyMap(PXM,PPM, PGM, PBM)、JPEG2000 (JP2)、JPEG2000 CodeStream (J2K, JPC)、PaintBrush (PCX)

サイズ変更、伸縮、回転	マウス操作でのサイズ変更、移動、1クリック(ボタン)での回転
ミラー	ミラー印字(水平・垂直)
バーコード・変数	
標準バーコード	工業規格バーコードに対応
2次元バーコード	QR、データマトリックス、PDF417、マキシコード...最新規格に対応。
SSCC, UCC, EAN128 作成ウィザード	100種類以上のAI(アプリケーション識別子)を用いたSSCC, UCC, EAN 128 バーコード作成ウィザード
新しいバーコード規格	FACTS, HIBC, Transfer Data Syntax for High Capacity ADC media など新 しいバーコード規格に対応
サイズ,比率,倍率	パラメータ指定(全バーコード)
解説文字	解説(可読)文字付加機能
チェックデジット生成	チェックデジット自動計算機能
チェックデジットアルゴ リズム	カスタムチェックデジットアルゴリズム(計算式)作成
ウィザード	変数フィールド(全種類)簡易作成ウィザード
キーボード入力	発行前 入力プロンプト、入力データチェック
日付・時間	日付・時間(出力フォーマット選択可)
連番	自動連番(増加・減少)、増減値指定(シリアル番号など)
計算機能	自動計算機能(賞味期限・使用期限)
グラフィック	サイズ指定、変数グラフィック(パス指定)
アドバンス変数機能	前補填・後補填、指定文字補填、桁寄せ、初期値など
リンクフィールド	別フィールドとの結合
ファンクション	ファンクション(変数加工ツール)結合・抽出・四則演算・VB スクリプトなど
RSS バーコード	UCC/EAN を基準に規格された RSS バーコード(1次元・2次元混在)に対応 RSS... UCC (Uniform Code Council) と EAN (European Article Numbering Association)によって開発された、産業・工場・ベンダ向け商品コード GTIN (Global Trade Identification Number)
グローバル変数	複数のラベルで変数共有、カウンタ値保存
RFID サポート	
RFID プログラム	ラベル印字と同時に RFID データ書き込み (SATO の全 RFID プリンタに対応)
接続	
DDE, Active X	ほぼ全ての Windows アプリケーションからフルコントロール
OLE 2	Windows オブジェクト(Corel Draw Graphics, MS Word Text など)

コマンドファイル	バッチ印刷機能により繰り返されるジョブを管理
エクスポート	SAP R/3、ERP システムへのエクスポート
リモート発行	ネットワークを通し、Windows 以外の環境からでも E-mail で、または COM ポートにデータを送ることで発行可能（プログラミング不要）
データベース	
データインポートウィザード	ウィザードでデータベースやテキストに簡単に接続
ネイティブサポート(直接接続)	MS-Access-, MS-Excel, dBase-, Paradox-Databases, ASCII ファイルなどのデータベースに直接接続
32-bit ODBC	32-bit ODBC ドライバを通じ、ほぼ全てのデータベースに接続(Oracle, SQL Server など)
SQL クエリ	SQL クエリ、カスタム SQL でデータベースからレコード抽出
レコード選択	発行前に手動で発行するレコードを選択可能
データベース管理	データベースマネージャでテーブル・検索インデックス作成、フォーム、またはグリッドモードでのデータの追加・修正、ASCII ファイルからの自動インポート
発行	
Windows プリンタ	Windows プリンタドライバを通し、全てのプリンタにグラフィックデータでバーコード印字(Label Gallery Dynamic)
熱転写プリンタ	SATO プリンタの特性を最大限に利用し、内部フォント・バーコード・TrueType フォント・グラフィックを印字 印字スピード・濃度・カッタ・カウンタ・メモ리카ード登録をサポート
ネットワーク発行	ネットワーク上のプリンタへの印字
フォント・グラフィックダウンロードツール	TrueType フォント・グラフィックを SATO プリンタの内部メモリに登録することで印字スピード向上
フォームデザイン	カスタムラベル発行アプリケーション作成(プログラミングスキル不要、発行オペレータはデザイン画面での操作不要)
ウィザード	ウィザードで簡単にフォーム作成
アドバンスエレメント	初期値設定・ボタン・データベース値セット、グラフィック、フレームなどのアドバンス設定
ラベルプレビュー	フォーム上にラベルプレビューを表示
データ入力制御	入力間違いを最小限に抑えるデータ入力制御機能
データベースグリッド	1クリックでデータベースのレコード選択・発行
フォームリンク	メニューから複数フォームにリンクし、複数のラベルを簡単に発行
タッチスクリーン発行	タッチスクリーン画面に対応

バッチ印刷	条件を指定し、SATO XL シリーズプリンタではタグ仕分けマーク印字・セパレータ・ラベルカット その他の SATO プリンタでもラベル バッチカット
その他	
マルチ言語対応	22ヶ国語対応
ユーロ対応	ユーロ(€)だけでなく、様々な通貨に対応(通貨為替ファンクション)
パスワードプロテクト	ユーザ権限ごとに操作をパスワードで制限(発行のみ、デザインのみ、など)
ログファイル	ラベル発行ログ(変数データを含む) ASCII ファイルへのエクスポートも可能
ラベルインポート / バッチインポート	別ソフト(SegSoft Dynamics, EPC Label, Label Wizard)の作成されたラベルをインポート
セキュリティ	パスワードによるラベルデザイン・修正・発行のロック
ラベル改訂履歴オプション	ラベルデザインの修正履歴を作成 (ユーザ名・日付・コメント保存)
ユニコード データベース	UNICODE データを含む UNICODE データベース (MS Access, SQL Server) の内容を (PC の地域の設定とは異なる言語) 印字可能 (例: 英語 Windows2000 から中国語データベースの内容印字)

6 トラブルシューティング

ソフトウェアをご使用いただく中で、操作方法などのご不明な点がありましたら、まず、オンラインヘルプ、又は CD-ROM 中のマニュアル(PDF 形式)をご覧ください。

7 保証

保証 :- SATO International Pte Ltd (SI) ではご購入いただいてから 1 年以内にハードウェアキー (USB 又はパラレル)が故障した場合、無償でお取替えいたします。尚、物理的な破損、改造などによるデバイスの故障には適用されません。

8 テクニカルサポート

最新の修正履歴、問題改善、よくあるご質問は Label Gallery のウェブサイトをご覧ください。ご購入了いただいたソフトウェアベンダにご連絡ください。

詳しくは下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.satoworldwide.com/>

テクニカルサポート、メールアドレス

softwaresupport@sato-int.com